



ともしび

— TO MO SI BI — 第243号

2016(平成28)年7月号

往生浄土

梅雨らしく、毎日ジメジメした天候が続いております。お寺におりますと湿気がひどく、とても蒸し暑く感じます。皆さまは、この梅雨の時期をどう快適に過ごされていますでしょうか。良い案があればご享受いただきたいものです。

さて、浄土真宗の教義における大切な3つの柱として、「他力本願」「悪人正機」「往生浄土」があります。その中で今号では「往生浄土」について味わわせていただきます。

「往生」という言葉を聞くと、やはり連想されるのが「死」であると思われます。時代劇で、「往生際の悪い奴だ」と言うシーンをご覧になったことがあるでしょう。また、途中で行き詰って身動きが取れなくなり、困ってしまうという意味でも使われることもしばしばあります。例えば、「ここへ来る途中に道が渋滞して往生した」とか、「急に雨が降って往生した」などです。では、辞典を引いて最初に出てくる意味はどうでしょうか。

① 仏の浄土に生まれること。
② 死ぬこと。

③ あきらめて、行動をやめ、おとなくすること。

④ どうにもしようがなく、困り果てること。

とあります。私たちお念仏の道を歩ませてください。私たちが大事なのは、やはり「仏の浄土に生まれること」です。往生とは、死ぬことではなく、浄土に往生生まれていくということなのです。親鸞聖人は、阿弥陀さまのお徳を讃える「和讃」において、

「如来浄華の聖衆は」

正覚のはなより化生して

衆生の願樂ことごとく

すみやかにとく満足す」

と詠まれました。

この「和讃」は、「浄土の清らかな蓮華のもとにおられる方々は、みな阿弥陀さまの花（救い）から生まれられたのです。それは、私たちが浄土に生まれるという願いを満たされた姿です」という意味になります。

「如来浄華の聖衆は」というのは、「浄土に生まれた方々」という意味になります。そして「正覚のはな」とは、「あなたが命終わるときには、必ずさとりのお仏にさせましょう」という阿弥陀さまのお心を蓮華のように花開いていることを譬えられたものです。

また、阿弥陀さまのお心を蓮華の花に譬えられたことは、私たちのような煩惱の汚れに染まらないながらも、その根は私たちの汚れた心にしつかりと根付いておられるのです。

つまり、阿弥陀さまの救いは、まさに私たちに向けられているのであり、その救いによって誰一人もれることなく、浄土に生まれていくことができます。のだと示されているのです。

私たちにとって大事なことは、阿弥陀さまの救いのはたらきをしっかりと受け入れること、これが信心を得た姿であり、お念仏を申しそれぞれの人生を大切に歩んでいくことなのです。



仏事あれこれ

仏事のQ&A

Q. 葬儀の祭壇は何を表す？

A. 浄土を表している

葬祭業者と葬儀の打ち合わせをする時に、祭壇の形や規模の話が出ると思います。その際、祭壇の中央最上部には南無阿弥陀仏の名号（ご本尊）を奉懸し、また故人の遺影等で名号が隠れないように配慮していただきたいのです。

祭壇は、ご本尊を奉懸することによって、実はお仏壇となるのです。浄土真宗の葬儀は、阿弥陀さまの大悲を仰ぎ、救いのはたらきにゆだねていく儀式です。したがって、葬儀のお飾りも阿弥陀さまが中心であり、その一つは浄土の情景を表しているのです。

具体的に言いますと、中央上部に平等院鳳凰堂を思わせるミニ建物がある場合があります。そこは、亡き人の遺影を飾るところではなく、阿弥陀さまのお住まいである浄土の宮殿、あるいは説法されている講堂を表しています。

また、故人の遺影や法名の周辺にはたくさんの花が飾られます。これらの花は浄土に咲く花です。これらの活き活きとした花はいのちの輝きを表しているのです。

亡き人は、花に象徴される多くの輝きのちに包まれて浄土に救われていかれるのです。莊嚴壇の花々は、亡き人に、「寂しくないよ・いつも一緒だよ」と温かく語りかけてくれますし、別れを悲しむ私たち遺族に対しても「安心してください。ほら、こんなに多くのいのちに護られていますから」と、励ましてくれているようです。

そのほかの灯明やお香や供物も、阿弥陀さまのお心のこもった浄土の情景の一つひとつなのです。



『新・仏事のイロハ』より抜粋

お知らせ

第25代専如門主

東京教区ご巡回並びに

築地本願寺ご巡拝のご案内



専如ご門主様は、昨年より全教区のご巡回・並びに直轄寺院・直属寺院のご巡拝を始められており、このたびは伝統継承報告並びに伝灯奉告法要に向けて、東京教区ご巡回並びに築地本願寺ご巡拝されます。

ご門主様とのふれあいを通じて、浄土真宗のみ教えを広く伝える機縁となるよう、是非ご参拝ください。

期日 平成28年7月7日（木）

時間 13時30分より16時まで

場所 築地本願寺

備考 参拝を希望される方は、

当会館までご連絡ください。

6月行事の様子

★宗祖降誕会・奉讃会総会 6月5日(日) 13時00分～17時00分

法要「正信念仏偈作法」、ご講師・宮本義宣師のご法話をいただきました。
その後奉讃会総会を行い、47名の皆さまとともに懇親会で盛り上がりしました。

法要「正信念仏偈作法」楽入



杉浦主任挨拶



ご講師・宮本義宣師



永年表彰



神谷さん、大嶋さん、石田さん

奉讃会総会に引き続き、永年表彰を行いました。
大嶋前会長は、15年の永きに亘り会長を務められました。
神谷さん、石田さんは晨朝勤行の精勤に対する表彰です。

今月のお誕生日の皆さま



主管と長男も誕生日を迎えました。

★キッズサンガ子ども会 6月18日(土) 10時00分～12時00分

オリジナル念珠を作ろう！と呼びかけ、参加した12名の子どもたちと一緒に腕輪念珠を作りました。それぞれに集中して念珠作りを楽しみました。

おつとめ



仏さまのお話



作ったお念珠で記念撮影



念珠作りに苦戦するかと思いきや、意外と手早く上手にできました。

念珠作り



7月の行事予定

境内清掃

7月2日(土) 午前9時～

境内の草取りを中心に行います。
皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。
※雨天時は中止となります。

常例法座

7月10日(日) 午後1時～

ご講師 毛利 祥真師
(神奈川県 立徳寺)



お気軽にお参りください。

親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

7月16日(土) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか？
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

キッズサンガー泊サマースクール

7月30日(土) 午後2時～
31日(日) 午前11時まで

お寺でたくさんの友だちと泊まって、
ゲームや花火、仏さまのお話を聞く
一泊サマースクールを開催します。

8月の行事予定

盂蘭盆会・永代経法要 納涼懇親会

8月7日(日) 午後1時～

ご講師 白川淳敬 師
(東京都 正法寺)



お盆の法要です。ご自宅へのお参りもご希望の方は伺います。

東久留米会館会報 「ともしび」
発行日 2016年7月1日 第243号
発行者 安邊 泰教
住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30
電話 042-474-6787

編集後記

月末に山口県の自坊に帰省し、1才になった長男の初参式(生まれて初めて仏前奉告する儀式)をしてまいりました。当日、天候は良かったものの、長男の機嫌は雨模様で、大泣きする中での初参式でした。
何はともあれ、無事に終わってホッとしました。(安)



今月のお仏飯米のご進納
北川 康雄様 新堀 栄介様
神谷 正弘様
掃除機(ルンバ)寄贈
菅野 ヨシコ様

ありがとうございました。